



Satera LBP

ユーザーズガイド（機能追加のお知らせ）

もくじ

はじめにお読みください	2
-------------------	---

各種機能に関する変更	5
------------------	---

ビジュアルメッセージ機能に新規機能を追加	6
<ホーム>画面の変更	8
サーバー情報の登録に関する変更	9
ネットワークに関する変更	10
ユーザー認証に関する変更	12
システム仕様の変更	16
機器情報の確認に関する変更	18
カラープロファイルの登録に対応	19
IPP Everywhere に対応	22

設定/登録に関する変更	24
-------------------	----

新規追加項目	25
<暗証番号の変更> (Ver.3.13～)	26
<暗証番号を必ず使用> (Ver.3.13～)	27
<おすすめセキュリティ設定> (Ver.3.13～)	29
<以前のパスワードの使用を制限> (Ver.3.15～)	31
<パスワード変更禁止期間の設定> (Ver.3.15～)	32
<カラープロファイルの登録> (Ver.3.15～)	33
<IPP Everywhere を使用> (Ver.3.15～)	34
<Universal Print の設定> (Ver.3.15～)	35
<使用回線の選択> (Ver.3.15～)	36
変更項目	37

ユーザズガイドに関するその他の変更	40
-------------------------	----

バージョンごとの変更点	42
-------------------	----

Ver.3.13 から Ver.3.15 の変更点	43
Ver.3.12 から Ver.3.13 の変更点	45

第三者のソフトウェアについて	48
----------------------	----

はじめにお読みください

はじめにお読みください	2
-------------------	---

はじめにお読みください

97Y6-000

本マニュアルはユーザーズガイドとあわせてお読みください。本マニュアルは、プラットフォームバージョン Ver.3.13 以降で対応した追加機能や変更内容について説明しています。

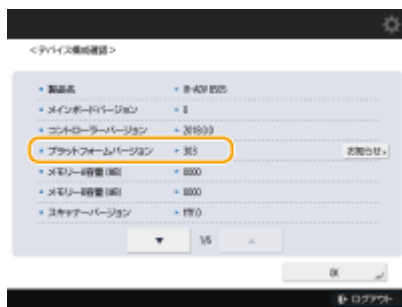
■お使いのバージョンを確認する

お使いの機種によっては最新のプラットフォームバージョンが適用されていない場合があります。以下の手順でお使いのバージョンをご確認のうえ、本マニュアルをお読みください。

1 (カウンター/機器情報) を押す

2 <機器情報/その他> ▶ <デバイス構成確認>を押す

3 <プラットフォームバージョン>でお使いのバージョンを確認する



■本マニュアルの読みかた

本マニュアルで使われるアイコンの意味などは以下のとおりです。なお、ここで説明していないマークや画面などについては、「ユーザーズガイド」と同様です。

対応バージョンについて

ファームウェアのアップデートにより追加／変更となった記載内容に対しては、対応となるバージョンを以下のアイコンで示しています。

Ver.3.15～ プラットフォームバージョン Ver.3.15 以降で対応

Ver.3.13～ プラットフォームバージョン Ver.3.13 以降で対応



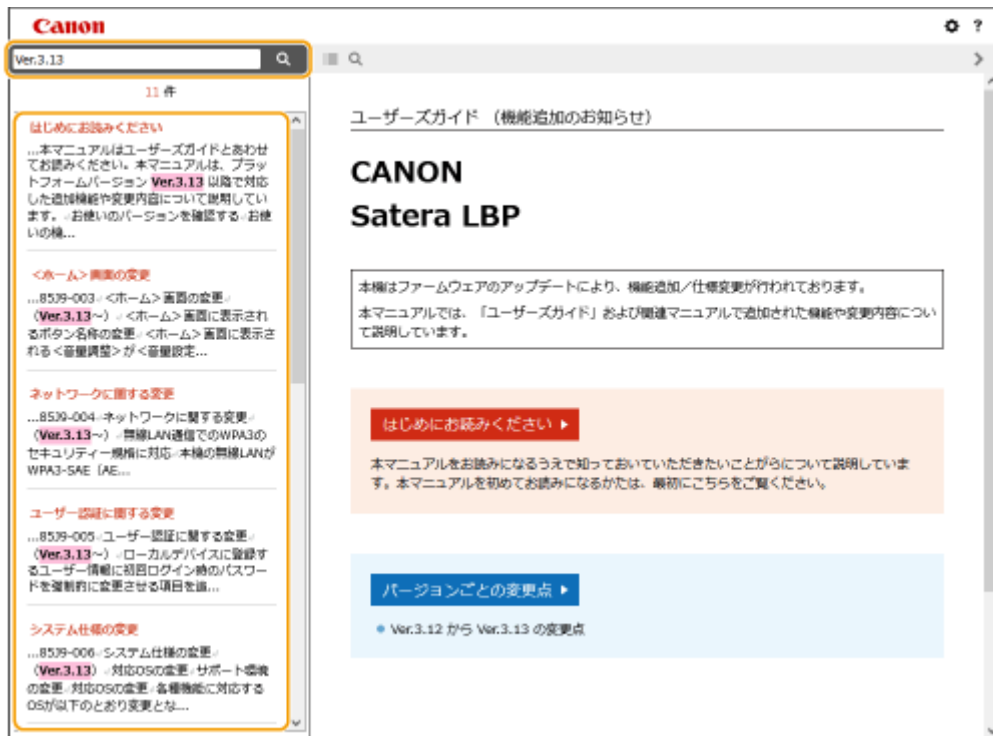
対応バージョンに応じた記載内容を探す

一覧ページから探す

- バージョンごとの変更点を一覧にまとめたページから探すことができます。▶ **バージョンごとの変更点(P. 42)**

検索して探す

- 「Ver.3.13」のようにキーワードにバージョンを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から探すことができます。



■本マニュアルの表示を設定する

本マニュアルの文字サイズを変更したり、本マニュアルを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。



- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ (<https://get.adobe.com/reader/>) からダウンロードしてください。

■商標について

All other trademarks are the property of their respective owners.

その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各種機能に関する変更

各種機能に関する変更	5
ビジュアルメッセージ機能に新規機能を追加	6
<ホーム>画面の変更	8
サーバー情報の登録に関する変更	9
ネットワークに関する変更	10
ユーザー認証に関する変更	12
システム仕様の変更	16
機器情報の確認に関する変更	18
カラープロファイルの登録に対応	19
IPP Everywhere に対応	22

各種機能に関する変更

97Y6-002

本機の各種機能に関する変更内容について説明しています。

- ▶ ビジュアルメッセージ機能に新規機能を追加(P. 6)
- ▶ <ホーム>画面の変更(P. 8)
- ▶ サーバー情報の登録に関する変更(P. 9)
- ▶ ネットワークに関する変更(P. 10)
- ▶ ユーザー認証に関する変更(P. 12)
- ▶ システム仕様の変更(P. 16)
- ▶ 機器情報の確認に関する変更(P. 18)
- ▶ カラープロファイルの登録に対応(P. 19)
- ▶ IPP Everywhere に対応(P. 22)

ビジュアルメッセージ機能に新規機能を追加

97Y6-00S

ビジュアルメッセージ機能に以下の機能を追加しました。

Ver.3.15～

ビジュアルメッセージ機能を便利に使う

コンテンツを表示したユーザーのログイン情報（ユーザー名とドメイン名）をサーバーに通知して情報を収集したり、コンテンツ内にリンクされた PDF を印刷して確認したりすることができるようになりました。

- 1 リモート UI を起動する
- 2 ポータルページで [設定/登録] をクリックする
- 3 [ライセンス/その他] ▶ [ビジュアルメッセージ] ▶ [セキュリティ設定] をクリックする
- 4 設定したい項目にチェックマークを付ける



a [コンテンツ表示時、ログイン情報をサーバーに通知する]

ユーザーがビジュアルメッセージを表示したときにユーザー情報（ユーザー名とドメイン名）を Web サーバーに通知する場合はチェックマークを付け、Web サーバーのパスを入力します。

b [コンテンツからのプリントを許可する]

ビジュアルメッセージで表示された HTML にある PDF を印刷する機能を設定する場合はチェックマークを付けます。

5 [OK] をクリックする

<ホーム>画面の変更

97Y6-003

Ver.3.13～

■<ホーム>画面に表示されるボタン名称の変更

<ホーム>画面に表示される<音量調整>が<音量設定>に名称が変更となりました。



サーバー情報の登録に関する変更

97Y6-00U

Ver.3.15～

■Active Directory サーバー認証時の階層指定に対応

Active Directory サーバー認証時、ユーザー情報を検索する位置（階層）を指定できるようになりました。特定の OU（組織単位）に登録されているユーザーアカウントのみを認証の対象にすることができます。

The screenshot displays the 'ドメインの追加' (Add Domain) configuration page. The left sidebar shows a tree view with 'サーバー設定' (Server Settings) selected. The main content area has a breadcrumb trail: '認証管理: 環境設定: サーバー設定 > サーバー設定の編集 > Active Directory管理 > ドメインの追加'. Below this, there are several input fields with character limits: 'ドメイン名' (64 characters), 'NetBIOS名' (15 characters), 'プライマリホスト名またはIPアドレス' (64 characters), 'セカンダリホスト名またはIPアドレス' (64 characters), 'ユーザー名' (32 characters), and 'パスワード' (127 characters). A '保存' (Save) button is located at the bottom left of the form area.

ネットワークに関する変更

97Y6-004

Ver.3.13～

■無線 LAN 通信での WPA3 のセキュリティ規格に対応

本機の無線 LAN が WPA3-SAE (AES-CCMP) と WPA3-EAP (AES-CCMP) のセキュリティ規格に対応するようになりました。



セキュリティ設定について

- 無線 LAN ルーターを選んで設定すると、WPA3-SAE の暗号化方式は＜自動＞（AES-CCMP または TKIP）に設定されます。WPA3-SAE の暗号化方式に＜AES-CCMP＞を指定したい場合は、＜詳細入力＞で設定してください。▶
無線 LAN 接続の設定をすべて入力して設定するとき (P. 11)
- 無線 LAN ルーターのセキュリティ規格が WPA3-EAP の場合は、暗号化方式は AES-CCMP になります。また、無線 LAN で接続する前に本機の IEEE 802.1X 認証を設定しておいてください。

WPA3 対応の無線 LAN ルーターを選んで設定するとき

接続可能な無線 LAN ルーターを本機のディスプレイから選びます。無線 LAN ルーターのセキュリティ規格が WPA3-SAE の場合、ネットワークキーには暗号化キーを入力して設定します。SSID やネットワークキー、セキュリティ規格や認証／暗号化方式などの情報は、あらかじめ確認のうえ、メモしておいてください。

1 （設定/登録）を押す

2 ＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞▶＜無線 LAN＞▶＜無線 LAN 設定＞▶＜手動設定＞を押す

3 ＜アクセスポイント選択＞を押す

- 接続可能な無線 LAN ルーターが探索されます。

4 無線 LAN ルーターを選び、接続する

■無線 LAN ルーターのセキュリティ設定が WPA3-SAE の場合

- 1 使用する無線 LAN ルーターを選び、＜OK＞を押す
- 2 ＜暗号化キー＞を押し、ネットワークキーを入力する
- 3 ＜OK＞を押す


⇒ 設定が完了すると、画面に＜接続しました。＞と表示されます。

■無線 LAN ルーターのセキュリティ設定が WPA3-EAP の場合

- 1 使用する無線 LAN ルーターを選び、＜OK＞を押す
⇒ 設定が完了すると、画面に＜接続しました。＞と表示されます。

無線 LAN 接続の設定をすべて入力して設定するとき

認証や暗号化などのセキュリティの設定などを詳しく設定したい場合や、他の方法で接続できない場合は、無線 LAN 接続の設定をすべて入力して設定します。SSID やネットワークキー、セキュリティ規格や認証／暗号化方式などの情報は、あらかじめ確認のうえ、メモしておいてください。

- 1 （設定/登録）を押す
- 2 ＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞▶＜無線 LAN＞▶＜無線 LAN 設定＞▶＜手動設定＞を押す
- 3 ＜詳細入力＞を押す
- 4 ＜SSID＞を押し、あらかじめ確認しておいた SSID を入力する
- 5 ＜セキュリティ設定＞で設定方式を選ぶ

■WPA3-SAE を使用する

- 1 ＜WPA2-PSK/WPA3-SAE＞または＜WPA3-SAE＞を押す
- 2 暗号化方式を選ぶ
 - 接続する無線 LAN ルーターに合わせて、自動的に AES-CCMP または TKIP を設定させるには＜自動＞を選びます。
- 3 ＜暗号化キー＞を押し、あらかじめ確認しておいたネットワークキーを入力する
- 4 ＜OK＞を押す

■WPA3-EAP を使用する

- 1 ＜WPA/WPA2-EAP＞を押す
 - 2 ＜ON＞を押す
-
- 6 ＜OK＞を押す

⇒ 無線 LAN ルーターが検出され設定が完了すると、画面に＜接続しました。＞と表示されます。

ユーザー認証に関する変更

97Y6-005

Ver.3.13～

▶ ローカルデバイスに登録するユーザー情報に初回ログイン時のパスワードを強制的に変更させる項目を追加(P. 12)

▶ IC カード認証でのログイン時に暗証番号の入力を必須にさせる項目を追加(P. 12)

■ ローカルデバイスに登録するユーザー情報に初回ログイン時のパスワードを強制的に変更させる項目を追加

登録するユーザーが初めてログインするときに、強制的にパスワードを変更させることができるようになりました。強制的にパスワードを変更させる場合はチェックマークを付けます。ユーザーがパスワードを変更すると、自動的にチェックマークが外れます。

■ IC カード認証でのログイン時に暗証番号の入力を必須にさせる項目を追加

IC カード認証でのログイン時に、暗証番号の入力を必須にして二要素認証にすることができるようになりました。対象ユーザーを「すべてのユーザー」または「管理者ユーザーのみ」から選びます。「暗証番号をログイン時に設定する」にチェックマークを付けると、暗証番号を設定していないユーザーは次回ログイン時に暗証番号の設定が必要になります。チェックマークが付いていない場合、暗証番号を設定していないユーザーはログインできません。



- 二要素認証でログインする場合は以下の設定を行ってください。
 - [利用する認証機能:] の [モバイル認証] と [キーボード認証] を [OFF] にする。
 - [設定メニューのボタン表示] の [IC カードの登録]、[IC カードの削除]、[IC カードの暗証番号の変更] を [OFF] にする。
- リモート UI やデバイス管理ソフトウェアなどのネットワークからのアクセスは二要素認証でのログインに対応していません。

Ver.3.15～

- ▶ リモート UI ログイン時の二要素認証に対応(P. 13)
- ▶ 以前に使用したパスワードを使用禁止にする項目を追加(P. 15)
- ▶ パスワード変更禁止期間の設定に対応(P. 15)

■ リモート UI ログイン時の二要素認証に対応

登録するユーザーがリモート UI にログインするときに、二要素認証させることができるようになりました。二要素認証させる場合はチェックマークを付けます。

認証管理 | 環境設定 | 基本設定 | 基本設定の編集

基本設定の編集

更新 キャンセル

認証機能の利用

☒ ユーザー認証機能も利用する

利用する認証機能: ☐ ICカード認証 ☒ キーボード認証

ICカード認証

ICカード認証

認証先: ☒ ローカルデバイス ☐ ICカードのみ(認証) ☐ サーバ: Active Directory

設定メニューのボタン表示: ☐ ICカードの登録 ☐ ICカードの削除 ☐ ICカードの登録番号の変更

☐ ログイン中にユーザーがICカード認証を許可する

☐ 認証時にドメインを指定する

☐ センサリ-の認証方法を設定する: ローカルデバイス

☐ 偽造カードの利用を許可する

有効期限: 1 日 (1~30)

☐ サーバ-のユーザー情報をICカードの認証時に登録する

* ICカード登録時またはICカードの認証番号変更時に、サーバ-のユーザー情報を取得しICカードの認証時に登録します。

登録するサーバ-: Active Directory

認証番号も必ず使用: ☐ すべてのユーザ ☐ 管理者ユーザのみ ☒ OFF

* 多要素認証になります。

☐ 認証番号をログイン時に設定する

キーボード認証

認証先: ☒ ローカルデバイス ☐ サーバ: Active Directory

ログインユーザのキャッシュ: Max (デバイスの最大数)

* デバイスのログイン履歴に保存されるユーザ-名を設定します。

設定メニューのボタン表示: ☐ パスワードの変更

☐ ICカードの読み取り状態もユーザー名にアソシ-する

☐ テンキー入力のみによる認証を使用する

☐ 以前のパスワードの長さを記憶する

パスワードの長さ: 1 (1~24)

☐ パスワードの変更期限を設定する

変更禁止期間: 1 日 (1~179)

リモートUI認証

* 認証用リモートポートの設定が必要です。ただし、サーバ-のIPアドレス以外の場合はローカルデバイスが要求されます。

認証モード: 時間認証モード

☒ 二要素認証を必ず使用: ☐ すべてのユーザ ☐ 管理者ユーザのみ ☒ OFF

* ログイン時は10秒以内のデバイスIDの提供が必要です。

* ウェンタイムパスワード生成アプリ(Google Authenticator, Microsoft Authenticator)をスマートフォンにインストールする必要があります。

* 使用するスマートフォンなど、このデバイスID(暗号化ID)が一致している必要があります。

■ログイン後に二要素認証の有効化画面が表示された場合



- ワンタイムパスワードを取得するには、事前にスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器にアプリ (Microsoft Authenticator や Google Authenticator) のインストールが必要です。また、本機とモバイル機器の時刻を合わせておく必要があります。

1 [ログイン] をクリックし、表示されたメッセージを確認し、[OK] を押す

2 表示された QR コードをモバイルアプリで読み取る

⇒ ワンタイムパスワードが表示されます。

3 表示されたワンタイムパスワードをリモート UI の [ワンタイムパスワード] に入力して [確認] をクリックする



- 2回目以降は、モバイルアプリに登録されたアカウントのワンタイムパスワードを入力すればログインできます。

■以前に使用したパスワードを使用禁止にする項目を追加

ユーザーがパスワードを変更するときに、以前に使用したパスワードを使用禁止にすることができるようになりました。[以前のパスワードの使用を制限する]にチェックマークを付け、パスワードの履歴数もあわせて設定します。

■パスワード変更禁止期間の設定に対応

ユーザーがパスワードを変更できない期間を設定することができるようになりました。[パスワード変更禁止期間を設定する]にチェックマークを付け、制限期間もあわせて設定します。

認証管理

基本設定の編集

基本設定

パスワード設定

パスワードの使用を制限する

パスワード履歴数: 1 (1~24)

パスワード変更禁止期間を設定する

変更禁止期間: 1 (1~179) 日

システム仕様の変更

97Y6-006

Ver.3.13～

対応 OS の変更(P. 16)

■ 対応 OS の変更

各種機能に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

LIPS LX プリンター機能

対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022 Mac OS X (10.11 以降)
-------	---

LIPS V プリンター機能

対応 OS	Windows 8.1/10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022
-------	--

PCL プリンター機能

対応 OS	Windows 8.1/10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022
-------	--

PS プリンター機能

対応 OS	ドライバー <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022 Mac OS X (10.11 以降)
	PPD <ul style="list-style-type: none"> Windows 8.1/10/11 Mac OS X (10.11 以降)

Ver.3.15～

対応 OS の変更(P. 16)

対応 サポート環境の変更(P. 17)

■ 対応 OS の変更

各種機能に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

LIPS LX プリンター機能

対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022 Mac OS X (10.13 以降)
-------	---

LIPS V プリンター機能

対応 OS	Windows 10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022
-------	--

PCL プリンター機能

対応 OS	Windows 10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022
-------	--

PS プリンター機能

対応 OS	ドライバー
	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10/11/Server 2012/Server 2012 R2/Server 2016/Server 2019/Server 2022 Mac OS X (10.13 以降)
	PPD
	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10/11 Mac OS X (10.13 以降)

Active Directory を認証サーバーとして指定する場合

ソフトウェア (OS)	Windows Server 2012 ^{*1} /Windows Server 2012 R2 ^{*1} /Windows Server 2016 ^{*1} /Windows Server 2019 ^{*1} /Windows Server 2022 ^{*1}
----------------	--

^{*1} KDC に関するポリシー（グループポリシー）で Kerberos Armoring を有効にすると、ユーザーが Active Directory 認証でログインすることができなくなります。Kerberos Armoring は無効にして使用してください。

■ サポート環境の変更

サポート環境に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

リモート UI

リモート UI の使用環境 ^{*1}	Windows
	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Edge Google Chrome
	Mac OS
	<ul style="list-style-type: none"> Safari 11 以降 Google Chrome

^{*1} ウェブブラウザの設定で Cookie と JavaScript を利用できるようにしておいてください。

機器情報の確認に関する変更

97Y6-007


Ver.3.13～

■TPM のバージョン確認

<デバイス構成確認>画面とリモート UI で TPM のバージョンが確認できるようになりました。

<デバイス構成確認>画面で確認する



（カウンター/機器情報）または〔カウンター/機器情報〕キー（立面操作部が装着されている機種の場合）▶ <機器情報/その他> ▶ <デバイス構成確認>

リモート UI で確認する



リモート UI を起動 ▶ [状況確認/中止] ▶ [デバイス情報]

カラープロファイルの登録に対応

97Y6-00W

Ver.3.15～

カラープロファイルを本機に登録することで、登録した色味を再現して印刷することができるようになりました。設定には Administrator または DeviceAdmin の権限が必要です。

● 特定カラーの登録(P. 19)

● 登録したプロファイルを使って印刷する (Windows) (P. 21)



- 最大9つのプロファイルに登録できます。
- 本機能を使用する前には必ず、自動階調補正（フル補正）を行ってください。

特定カラーの登録

チャート上の特定のカラーを再現して登録することができます。PS、PDF、Imaging（CMYK）のページ記述言語とファイル形式では登録したプロファイルを使用できません。

1 オンラインマニュアルサイトから「特定カラーの再現チャート」をダウンロードする

2 本機でチャートを印刷する

- 1 チャートを開き、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する
- 2 本機を選び、[詳細情報] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [基本設定] タブの [原稿サイズ] で [A4] または [レター]、[片面/両面/製本] で [片面印刷] を選ぶ
- 4 [ページ設定] タブの [倍率を指定する] のチェックマークを外す
- 5 [印刷品質] タブの [色の設定を行う] にチェックマークを付け、[色設定] をクリックする
- 6 [マッチング] タブの [マッチングモード] で [使わない] を選び、[アプリケーションのカラーマッチングを優先する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする
- 7 [印刷] または [OK] をクリックする

⇒ チャートが印刷されます。

3 (設定/登録) ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <画質調整> ▶ <カラープロファイルの登録> ▶ <チャートの特定カラーを再現>を押す

4 再現したいカラーに登録するプロファイルを作成する



- すでに登録されているプロファイルのいずれかを選んで、＜複製＞を押し、プロファイル名称を入力して＜OK＞を押します。

5 作成したプロファイルを選び、＜次へ＞を押す

6 ＜追加＞を押す

- 登録済のカラーを編集したい場合は＜編集＞を押します。
- 登録済のカラーを削除したい場合は＜削除＞を押します。

7 登録したいカラーの値を入力する

- ＜対象 RGB＞に作成したいカラーの RGB 値を入力し、手順 2 で印刷したチャートから、その色に対応する＜Sheet No.＞、＜Row＞、＜Column＞をそれぞれ入力する。
- RGB が同じ値になる色を登録することはできません。
例：白(R,G,B)=(255,255,255)、黒(R,G,B)=(0,0,0)
- すでに登録済みの RGB 値は追加で登録することができません。

8 ＜OK＞を押す

- ⇒ 出力カラーが追加されます。
- 最大 168 色登録できます。

9 ＜OK＞を押す

- ⇒ プロファイルに出力カラーの情報が登録されます。




- 以下のいずれかの操作を実行することで、登録したプロファイルが有効になります。
 - ⚙️ (設定/登録) ➡️ ⚙️ (設定/登録) ➡️ ＜設定の反映＞ ➡️ ＜はい＞を押す
 - 本機を再起動する

登録したプロファイルを使って印刷する **Windows**

登録したプロファイルを使って印刷したいときは、プリンタードライバーで以下の操作をします。



- 登録したプロファイルを使用して印刷するには、事前にプリンタードライバーからデバイス情報を取得する必要があります。プリンタードライバーのプロパティの「デバイスの設定」タブから  をクリックしてください。

- 1 文書を開き、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する
- 2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [印刷品質] タブの [色の設定を行う] にチェックマークを付け、[色設定] をクリックする
- 4 [マッチング] タブの [マッチングモード] で [使う] を選び、[アプリケーションのカラーマッチングを優先する] のチェックマークを外す
- 5 [マッチング方法] で登録したプロファイルを選択し、[OK] をクリックする

■PS プリンターの場合

- 1 文書を開き、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する
- 2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [カラー] タブの [RGB マッチングモード] で [デバイスリンクプロファイル] を選ぶ
- 4 [RGB 入力(環境光+色空間)] で登録したプロファイルを選択し、[OK] をクリックする

IPP Everywhere に対応

97Y6-00X

Ver.3.15~

IPP Everywhere での印刷に対応しました。お使いの Chromebook が IPP Everywhere に対応している場合は、IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷できるようになりました。

IPP Everywhere を使用して本機で印刷するためには、お使いの Chromebook に本機を登録し、IPP Everywhere の設定を有効にする必要があります。

IPP Everywhere の設定を確認する



リモート UI に管理者モードでログインする ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [IPP Everywhere 設定] ▶ [IPP Everywhere を使用する] にチェック ▶ [OK]

! 重要

IPP Everywhere を使用すると、＜TCP/IP 設定＞にある以下の設定値も＜ON＞になります。


- HTTP を使用
- IPP 印刷の設定
- IPv4 mDNS を使用
- IPv6 mDNS を使用

設定/登録に関する変更

設定/登録に関する変更	24
新規追加項目	25
<暗証番号の変更> (Ver.3.13～)	26
<暗証番号を必ず使用> (Ver.3.13～)	27
<おすすめセキュリティー設定> (Ver.3.13～)	29
<以前のパスワードの使用を制限> (Ver.3.15～)	31
<パスワード変更禁止期間の設定> (Ver.3.15～)	32
<カラープロファイルの登録> (Ver.3.15～)	33
< IPP Everywhere を使用> (Ver.3.15～)	34
< Universal Print の設定> (Ver.3.15～)	35
<使用回線の選択> (Ver.3.15～)	36
変更項目	37

設定/登録に関する変更

97Y6-008

＜設定/登録＞画面の項目に関する変更内容について説明しています。＜設定/登録＞画面は操作パネルの （設定/登録）を押すと表示されます。

- 新規追加項目(P. 25)
- 変更項目(P. 37)

新規追加項目

97Y6-009

設定/登録に新たに追加された項目について説明しています。

- ▶<暗証番号の変更> (Ver.3.13～) (P. 26)
- ▶<暗証番号を必ず使用> (Ver.3.13～) (P. 27)
- ▶<おすすめセキュリティー設定> (Ver.3.13～) (P. 29)
- ▶<以前のパスワードの使用を制限> (Ver.3.15～) (P. 31)
- ▶<パスワード変更禁止期間の設定> (Ver.3.15～) (P. 32)
- ▶<カラープロファイルの登録> (Ver.3.15～) (P. 33)
- ▶<IPP Everywhere を使用> (Ver.3.15～) (P. 34)
- ▶<Universal Print の設定> (Ver.3.15～) (P. 35)
- ▶<使用回線の選択> (Ver.3.15～) (P. 36)

<暗証番号の変更> Ver.3.13~

97Y6-00A

⚙️ (設定/登録) ▶ <管理設定> ▶ <ユーザー管理> ▶ <認証管理>



一般ユーザーがログイン時に入力する暗証番号を変更できるようになりました。



- 本項目は、User Authentication 使用時に、Administrator 以外の権限を持つユーザーでログインした場合にのみ表示されます。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による設定	機器情報 配信	一括イン ポート	リモート UI でのエク スポート項目名
<暗証番号の変更>	(7 字ま で)	○	○	○	×	C	認証ユーザー管理

<暗証番号を必ず使用> Ver.3.13~

97Y6-00C

⚙️ (設定/登録) ▶ <管理設定> ▶ <ユーザー管理> ▶ <認証管理> ▶ <IC カード認証>



IC カード認証でのログイン時に、暗証番号の入力を必須にして二要素認証にすることができるようになりました。対象ユーザーを<すべてのユーザー>または<管理者ユーザーのみ>から選びます。<暗証番号をログイン時に設定する>にチェックマークを付けると、暗証番号を設定していないユーザーは次回ログイン時に暗証番号の設定が必要になります。チェックマークが付いていない場合、暗証番号を設定していないユーザーはログインできません。



- 二要素認証でログインする場合は以下の設定を行ってください。
 - <モバイル認証>と<キーボード認証>を<OFF>にする。
 - <設定メニューのボタン表示>の<IC カードの登録>、<IC カードの削除>、<IC カードの暗証番号の変更>を<OFF>にする。
- リモート UI やデバイス管理ソフトウェアなどのネットワークからのアクセスは二要素認証でのログインに対応していません。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による 設定	機器 情報 配信	一括イ ンポー ト	リモート UI で のエクスポート 項目名
<暗証番号を必ず使用>	<すべてのユーザー>、<管理者ユーザーのみ>、<OFF>	×	×	○	○	C	設定/登録の基本情報
	<すべてのユーザー>選択時： <暗証番号をログイン時に設定する>：<ON>、<OFF>						
	<管理者ユーザーのみ>選択時：						

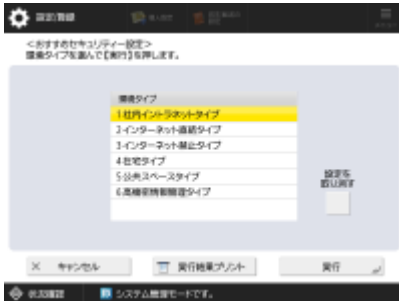
設定/登録に関する変更

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による 設定	機器 情報 配信	一括イ ンポート	リモート UI で のエクスポート 項目名
	<暗証番号をログイン時に設定する>：< ON >、< OFF >						

<おすすめセキュリティ設定> Ver.3.13～

97Y6-00E

⚙️ (設定/登録) ▶ <管理設定> ▶ <セキュリティ設定> ▶ <おすすめセキュリティ設定>



本機の環境タイプを選択するだけで、お使いの環境におすすめのセキュリティ設定を一括で行えるようになりました。どの環境タイプに該当するかは「セキュリティ設定ナビ」でご確認ください。**セキュリティ設定ナビ**

Ver.3.15～

<実行結果プリント>を押すことで、設定した環境タイプによって変更された「設定/登録」の設定値をレポートとしてプリントできるようになりました。



- 本機のセキュリティポリシーの設定項目が1項目でも設定されている場合、<おすすめセキュリティ設定>は使用できません。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による設定	機器情報配信	一括インポート	リモート UI でのエクスポート項目名
<おすすめセキュリティ設定>	<1 社内イントラネットタイプ> <2 インターネット直結タイプ> <3 インターネット禁止タイプ> <4 在宅タイプ> <5 公共スペースタイプ> <6 高機密情報管理タイプ> <設定を取り消す>	×	×	○	×	×	-

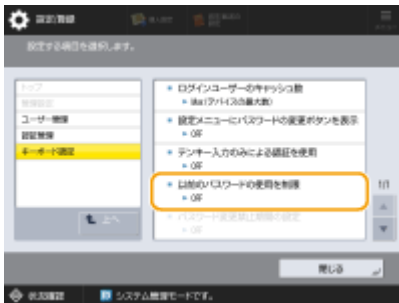


- 本機を各タイプでおすすめのセキュリティ設定に変更したあと、必要な機能が利用できなくなった場合などは、変更を取り消して元に戻すことができます。
＜おすすめセキュリティ設定＞で変更された項目の設定を手動で変更していた場合、その変更は維持されません。
＜おすすめセキュリティ設定＞を実行する前の状態に戻ります。

<以前のパスワードの使用を制限> Ver.3.15~

97Y6-00Y

⚙️ (設定/登録) ▶ <管理設定> ▶ <ユーザー管理> ▶ <認証管理> ▶ <キーボード認証>



キーボード認証でのログイン時に、以前に使用したパスワードを使用禁止にするかどうかを設定できるようになりました。

■ 設定／登録一覧表

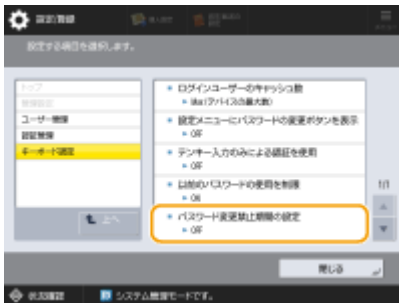
設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による設定	機器情報 配信	一括イン ポート	リモート UI でのエ クスポート項目名
<以前のパスワードの使用を制限>	< ON >、 < OFF >	×	×	○	×	C	設定/登録の基本情報

<パスワード変更禁止期間の設定> Ver.3.15~

97Y6-010

⚙️ (設定/登録) ▶ <管理設定> ▶ <ユーザー管理> ▶ <認証管理> ▶ <キーボード認証>



キーボード認証でのログイン時に、パスワードを変更できない期間を設定できるようになりました。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による設定	機器情 報配信	一括イン ポート	リモート UI でのエ クスポート項目名
<パスワード変更禁止期間の設定>	< ON >、 < OFF >	×	×	○	×	C	設定/登録の基本情報

<カラープロファイルの登録> Ver.3.15~

97Y6-011

⚙️ (設定/登録) ▶ <調整/メンテナンス> ▶ <画質調整>



カラー印刷するときに、他の機種と色味を合わせたり、特定の色を正確に再現したりすることができるようになりました。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による 設定	機器 情報 配信	一括イ ンポート	リモート UI での エクスポート項目 名
<カラープロファイルの登録>	<チャートの特定カラーを再現>、<プロファイルリスト>	○	×	×	×	A	設定/登録の基本 情報

< IPP Everywhere を使用 > Ver.3.15～

97Y6-012

⚙️ (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク>



IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷するかどうかを設定できるようになりました。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による設定	機器情報 配信	一括イン ポート	リモート UI でのエク スポート項目名
< IPP Everywhere を使用 >	< ON >、< OFF >	×	○	○	×	C	設定/登録の基本情報

< Universal Print の設定 > Ver.3.15～

97Y6-013

⚙️ (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク>



Universal Print を使用するかどうかを操作パネルからも設定できるようになりました。



- Universal Print を使用するための詳細な設定は、リモート UI からのみ設定できます。

■ 設定／登録一覧表

設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザーズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による 設定	機器 情報 配信	一括イ ンポート	リモート UI で のエクスポート 項目名
<基本設定>	< Universal Print を使用 > : ON、 OFF	×	○	○	×	C	設定/登録の基 本情報
<登録状況>	<未登録> <登録済み> <登録確認中>	×	○	○	×	×	-

<使用回線の選択> Ver.3.15～

97Y6-014

⚙️ (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク> ▶ <副回線設定> ▶ <システムデータ通信用設定>



遠隔監視サーバーや配信サーバーとの通信時に副回線を使用するかどうかを選択できるようになりました。

■ 設定／登録一覧表


設定／登録一覧表の見かたについては「ユーザズガイド」の「設定/登録」▶「設定／登録一覧表」を参照してください。

設定／登録項目	設定項目	DeviceAdmin	NetworkAdmin	リモート UI による設定	機器情 報配信	一括イン ポート	リモート UI でのエク スポート項目名
<使用回線の選択>	<主回線>、 <副回線>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	×	C	設定/登録の基本情報

変更項目

設定内容や補足説明などが変更となった設定項目は以下のとおりです。

Ver.3.13～

 (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <タイマー/電力設定>


- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
<日付/時刻設定>	<日付/時刻の設定>

 (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク> ▶ <TCP/IP 設定>

- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
< WSD 設定>	< WSD の設定>


 (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク> ▶ <TCP/IP 設定> ▶ <DNS 設定>

- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
< DNS サーバーアドレス設定>	< DNS サーバーアドレスの設定>


- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
< DNS のホスト名/ドメイン名設定>	< DNS のホスト名/ドメイン名の設定>

 (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク> ▶ <TCP/IP 設定> ▶ <BMLinkS 設定> ▶ <設置場所の情報>

- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
<部門名>	<支店名>

 (設定/登録) ▶ <環境設定> ▶ <ネットワーク> ▶ <無線 LAN > ▶ <無線 LAN 設定> ▶ <アクセスポイント選択>

- セキュリティ設定の条件が変更となりました。
- <<ネットワークキーの入力 (PSK)>>の名称が<<ネットワークキーの入力>>に変更となりました。
- < PSK >の名称が<暗号化キー>に変更となりました。

変更前	変更後
セキュリティ設定が WPA/WPA2-PSK の場合：＜ネットワークキーの入力 (PSK)＞＞（＜PSK＞：WPA/WPA2-PSK パスフレーズを入力）	セキュリティ設定が WPA/WPA2-PSK、WPA2-PSK/WPA3-SAE、WPA3-SAE の場合：＜ネットワークキーの入力＞＞（＜暗号化キー＞：WPA/WPA2-PSK パスフレーズを入力）

⚙️（設定/登録）▶＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞▶＜無線 LAN＞▶＜無線 LAN 設定＞▶＜詳細入力＞

- 設定項目に＜WPA2-PSK/WPA3-SAE＞、＜WPA3-SAE＞が追加になりました。

変更前	変更後
＜セキュリティ設定＞：＜なし＞、＜WEP＞、＜WPA/WPA2-PSK＞、＜WPA/WPA2-EAP＞	＜セキュリティ設定＞：＜なし＞、＜WEP＞、＜WPA/WPA2-PSK＞、＜WPA/WPA2-EAP＞、＜WPA2-PSK/WPA3-SAE＞、＜WPA3-SAE＞

- ＜セキュリティ設定＞（＜WPA/WPA2-PSK＞）の名称が＜セキュリティ設定＞に変更となりました。
- ＜PSK＞の名称が＜暗号化キー＞に変更となりました。

変更前	変更後
<ul style="list-style-type: none"> ● ＜セキュリティ設定＞（＜WPA/WPA2-PSK＞） ＜暗号化方式＞（＜ 自動 ＞、＜AES-CCMP＞）、＜PSK＞	<ul style="list-style-type: none"> ● ＜セキュリティ設定＞ ＜暗号化方式＞（＜ 自動 ＞、＜AES-CCMP＞）、＜暗号化キー＞

⚙️（設定/登録）▶＜環境設定＞▶＜ネットワーク＞▶＜副回線設定＞▶＜システムデータ通信用設定＞

- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
＜DNS サーバーアドレス設定＞	＜DNS サーバーアドレスの設定＞

⚙️（設定/登録）▶＜ファンクション設定＞▶＜共通＞▶＜給紙動作＞

- 設定／登録項目の名称が変更となりました。

変更前	変更後
＜用紙カセット自動選択の ON/OFF＞	＜給紙箇所の自動選択の設定＞

Ver.3.15～

⚙️（設定/登録）▶＜管理設定＞▶＜セキュリティ設定＞

- ＜ランタイムシステム保護＞を＜ON＞に設定した場合に、＜ホーム＞画面に＜システム検証モニター＞が表示され、不正な動作などのログを確認することができるようになりました。

ユーザーズガイドに関するその他の 変更

ユーザーズガイドに関するその他の変更	40
--------------------------	----

ユーザズガイドに関するその他の変更

97Y6-016

保存スペースを活用する▶メモリーメディアのデータを操作する▶メモリーメディアのファイルやフォルダーを操作する

手順 4 の **d** ＜フォルダー操作＞の説明が変更（箇条書き 3 つ目の記載が削除）になりました。

d ＜フォルダー操作＞

以下の場合に押します。

- 表示している階層に存在するフォルダーの＜詳細情報＞を確認する場合
- 表示している階層で＜フォルダー作成＞を行う場合

設定/登録▶＜管理設定＞▶＜セキュリティー設定＞

＜おすすめセキュリティー設定＞の設定項目の一覧表の設定値が変更になりました。詳しくは、**▶＜おすすめセキュリティー設定＞（Ver.3.13～）（P. 29）** を参照してください。

印刷や仕上げ品質を調整する▶カラープロファイルを登録して印刷する

「特定カラーの登録」の手順 2 の記載が変更になりました。また、「登録したプロファイルを使って印刷する (Windows)」に補足説明が追加になりました。詳しくは、**▶カラープロファイルの登録に対応(P. 19)** を参照してください。

バージョンごとの変更点

バージョンごとの変更点	42
Ver.3.13 から Ver.3.15 の変更点	43
Ver.3.12 から Ver.3.13 の変更点	45

バージョンごとの変更点

97Y6-00J

バージョンごとの変更点を一覧にまとめて説明しています。

- ▶Ver.3.13 から Ver.3.15 の変更点(P. 43)
- ▶Ver.3.12 から Ver.3.13 の変更点(P. 45)

Ver.3.13 から Ver.3.15 の変更点

97Y6-015

プラットフォームバージョン Ver.3.15 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

▶各種機能に関する変更点(P. 43)

▶設定登録に関する変更点(P. 43)

各種機能に関する変更点

- コンテンツを表示したユーザーのログイン情報（ユーザー名とドメイン名）をサーバーに通知して情報を収集する機能を追加
▶ビジュアルメッセージ機能に新規機能を追加(P. 6)
- コンテンツ内にリンクされた PDF を印刷して確認する機能を追加
▶ビジュアルメッセージ機能に新規機能を追加(P. 6)
- Active Directory サーバー認証時の階層指定に対応
▶サーバー情報の登録に関する変更(P. 9)
- リモート UI ログイン時の二要素認証に対応
▶ユーザー認証に関する変更(P. 12)
- 以前に使用したパスワードを使用禁止にする項目を追加
▶ユーザー認証に関する変更(P. 12)
- パスワード変更禁止期間の設定に対応
▶ユーザー認証に関する変更(P. 12)
- カラープロファイルの登録に対応
▶カラープロファイルの登録に対応(P. 19)
- IPP Everywhere に対応
▶IPP Everywhere に対応(P. 22)

設定登録に関する変更点

- <以前のパスワードの使用を制限>を新規追加
▶<以前のパスワードの使用を制限>（Ver.3.15～）(P. 31)
- <パスワード変更禁止期間の設定>を新規追加
▶<パスワード変更禁止期間の設定>（Ver.3.15～）(P. 32)
- <カラープロファイルの登録>を新規追加
▶<カラープロファイルの登録>（Ver.3.15～）(P. 33)
- <IPP Everywhere を使用>を新規追加
▶<IPP Everywhere を使用>（Ver.3.15～）(P. 34)

- 操作パネルからの Universal Print の設定に対応
▶ < Universal Print の設定 > (Ver.3.15～) (P. 35)
- < 使用回線の選択 > を新規追加
▶ < 使用回線の選択 > (Ver.3.15～) (P. 36)
- < おすすめセキュリティ設定 > で設定した設定値のレポートプリントに対応
▶ < おすすめセキュリティ設定 > (Ver.3.13～) (P. 29)
- 不正な動作などのログ確認に対応
▶ 変更項目(P. 37)

Ver.3.12 から Ver.3.13 の変更点

97Y6-00K

プラットフォームバージョン Ver.3.13 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

🔴各種機能に関する変更点(P. 45)

🔴設定登録に関する変更点(P. 45)

各種機能に関する変更点

- <ホーム>画面に表示されるボタン名称の変更
🔴<ホーム>画面の変更(P. 8)
- 無線 LAN 通信での WPA3 のセキュリティ規格に対応
🔴ネットワークに関する変更(P. 10)
- ローカルデバイスに登録するユーザー情報に初回ログイン時のパスワードを強制的に変更させる項目を追加
🔴ユーザー認証に関する変更(P. 12)
- IC カード認証でのログイン時に暗証番号の入力を必須にさせる項目を追加
🔴ユーザー認証に関する変更(P. 12)
- 各種仕様（対応する OS／サポート環境）の変更
🔴システム仕様の変更(P. 16)
- 機器情報で確認できる項目に TPM のバージョンを追加
🔴機器情報の確認に関する変更(P. 18)

設定登録に関する変更点

- <暗証番号の変更>を新規追加
🔴<暗証番号の変更>（Ver.3.13～）(P. 26)
- <暗証番号を必ず使用>を新規追加
🔴<暗証番号を必ず使用>（Ver.3.13～）(P. 27)
- <おすすめセキュリティ設定>を新規追加
🔴<おすすめセキュリティ設定>（Ver.3.13～）(P. 29)
- <日付/時刻設定>の名称を変更
🔴変更項目(P. 37)
- <WSD 設定>の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- < DNS サーバーアドレス設定>の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- < DNS のホスト名/ドメイン名設定>の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- <部門名>の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- <<ネットワークキーの入力 (PSK)>>の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- < PSK >の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- <セキュリティ設定>の設定項目に< WPA2-PSK/WPA3-SAE >、< WPA3-SAE >を追加

▶変更項目(P. 37)

- <セキュリティ設定> (< WPA/WPA2-PSK >)の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

- <用紙カセット自動選択の ON/OFF >の名称を変更

▶変更項目(P. 37)

第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアについて	48
----------------------	----

第三者のソフトウェアについて

97Y6-00R

各バージョンの第三者のソフトウェアに関する情報は、本マニュアルの HTML 版をご確認ください。HTML 版マニュアルはオンラインマニュアルサイト (<https://oip.manual.canon/>) からご覧になることができます。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.